

特別研究員事業

平成24年度予算案 : 18,056 百万円
(平成23年度予算額 : 18,004 百万円)

～ 博士課程修了者(PD)、出産・育児による研究中断からの復帰(RPD)と優秀な博士課程学生(DC)に対する支援～

運営費交付金中の推計額

我が国トップクラスの優れた若手研究者に対して、その研究生生活の初期において、自由な発想のもとに主体的に研究課題等を選びながら研究に専念する機会を与え、我が国の学術研究の将来を担う創造性に富んだ研究者の養成・確保を図る。

政策

「第4期科学技術基本計画」(H23.8.19 閣議決定)

- ・国は、競争的に選考された優れた若手研究者が、自ら希望する場で自立して研究に専念できる環境を構築するため、フェローシップや研究費等の支援を大幅に強化する。
- ・国は、優秀な学生が安心して大学院を、目指すことができるよう、フェローシップ、TA(ティーチングアシスタント)、RA(リサーチアシスタント)など給付型の経済支援の充実を図る。これらの取組によって、「博士課程(後期)在籍者の2割程度が生活費相当額程度を受給できることを目指す」という第3期基本計画における目標の早期達成に努める。

「第3次男女共同参画基本計画」(H22.12.17 閣議決定)

- ・出産・育児により研究活動を中断した優れた研究者が円滑に研究現場に復帰できるよう、研究奨励金の支給等の制度を拡充する。

特別研究員 (PD) (SPD)	【対象:博士課程修了者等、月額:36.2万円(PD)、44.6万円(SPD)、採用期間:3年間】 博士課程修了者等で優れた研究能力を有する者(PD)及び世界最高水準の研究能力を有する者(SPD)に研究機関で研究に専念することを支援 支援人数 PD:1,385人 1,420人 (6,016百万円 6,168 百万円) SPD: 36人 36人(193百万円 193百万円)
特別研究員 (RPD)	【対象:研究中断から復帰する博士課程修了者等、月額:36.2万円、採用期間:3年間】 優れた研究者が、出産・育児による研究中断後に、円滑に研究現場に復帰することを支援 支援人数 130人 140人 (565百万円 608 百万円)
特別研究員 (DC)	【対象:博士課程(後期)学生、月額:20.0万円、採用期間:3年間(DC1)、2年間(DC2)】 優秀な博士課程(後期)学生が、経済的に不安を感じることなく研究に専念し、研究者としての能力を向上できるよう支援 支援人数 4,642人 4,582人(11,141百万円 10,997百万円)

次代を担う優秀な若手研究者がアルバイト等をすることなく、主体的に研究に専念でき、研究者としての資質や潜在能力を飛躍的に向上